

大阪府市場だより

第291号

(平成28年5月25日)

発行

大阪府中央卸売市場協会
茨木市宮島1-1-1
TEL (072) 636-3698
FAX (072) 636-3699
MAIL: 36983699@
iaa.itkeeper.ne.jp



絵：「えび」磯野 由美（磯丸運送）

大阪府報告や通常理事會提出議案等を協議

定例常駐代表者會議

定例常駐代表者會議が5月19日9時20分から、管理棟4階會議室で開催された。山口議長（府水産物卸協同組合理事長）の挨拶の後、議事が進められた。

議題1、大阪府の根来課長から

平成27年度直接集荷届出額が約106億円（青果95億円、水産11億円）で26年度に比べ約31億円届出増売上高割使用料約700万円増であったこと、今年度の指導方針として、過去2年間に指摘した仲卸業者26社について指摘事項の履行状況を確認し、今後とも粘り強く適宜指導するとの報告があった。山口議長は、「仲卸の競争が公平になり、収入は管理センターの事業にも使える。市場法にも規定されていることなので、引き続き頑張ってもらいたい」と述べられた。

議題2、管理センターの宮前統括から2頁のとおり報告があった。山口議長は、「工作物の無許可設置は指示をして撤去してもらうことになっている。また、不法駐車も有料駐車場へ誘導してもらうなど、管理センターに頑張ってもらっている。」「青果軒下通りの舗装修繕工事は2日間通行止めになり、大変だが大丈夫でしょうか」と東野青仲理事長に問われ、同理事長は「全面的に協力するのでよろしくお願ひしたい」と述べられた。三木北果社長から、カラス・鳩の巣があるようだがその対応について質問があり、宮前統括から管理センターで連絡があれば取りに行っているとの回答があった。小笠原うおいち支社長から、仲卸店舗通路のフン対策と2階大屋根上の電線に覆いがないので、保護被

覆の劣化などで危険ではないかとの質問があり、調査の上対応を検討することになった。東野青仲理事長から、S5の前の冷蔵庫の雨漏りについて質問があり、雨の日に専門業者に見てもらったこととなった。

議題3、①専門部会の開催状況が各専門部会長から報告があった。（2頁参照）②山口議長から、市場開放デー実行委員会について、榎本委員長、細田副委員長として組織する案が示され、了承された。

議題4、北冷の巽社長から、「6月末日をもってちりめんの保管が終了する。水販売の無人化はうまくいっているが夏場を迎えるので、引き続きご協力をお願いしたい」と述べられた。また、市場カレンダーの休場日を東京と同じにできないかとの要望があった。

議題5、衛検の河井所長から、「食の安全安心の情報を定期的に提供するため、『いちば通信』を発刊させていただくのでよろしく」と述べられた。

中村府場長から、全国中央卸売市場協会定例総会における農水省による講演内容の紹介があった。

最後に、市場協会の通常理事會提出議案について事務局から説明があり、了承された。

なお、冒頭、熊本地震の対応について話し合われた。各社・団体ですべてに対応されていることなどから、協会としての対応は見送ることとされた。



府市場活性化事業

大阪府中央卸売市場では、生鮮食料品の消費拡大を図るため、大学や産地、量販店などと連携し、市場や農水産物のPR、食育等の情報発信を行っている。

近鉄百貨店奈良店で府市場まつり

5月12日(木)から15日(日)に、近鉄奈良店で「新鮮市場」初夏のうま味のまつり」と銘打ち、府市場まつりが鮮魚売り場で開催された。旬のとびっさり新鮮な長崎県産の天然いささ、静岡県産のカツオのたたき、和歌山県産の丸あじなどが提供され、活気のある売り手の声や聞かれ、多くの消費者が新鮮なうまいものを購入できるお得感を喜んでおられた。



また、14日(土)には、梅花女子大学食文化学科とコラボして、学生の皆さんが考案した国産生サーモン使用の料理「サーモンとチーズのバルサミコンソースかけ」を、三人の学生さんたちが試食をすずめてレシビを配布した。国産サーモンを使って簡単に作れる、野菜との相性も良くあった料理に、仕上がりがとても美味しかった方から「協力」(株)魚組、梅花女子大学、(株)うおいち北部支社、大阪府中央卸売市場管理センター(株)



追手門学院大学学生の市場見学

府市場と事業連携している追手門学院大学から経営学部村上准教授ゼミの新生入生など18人が、市場見学に訪れた。同ゼミではこれまで、追手井の考案や小学生への模擬せりなどの食育活動で活躍いただいているが、新生入生の皆さんが市場の仕組みをよく知ろうと見学したものの。先ずは、水産物仲卸の拓新水産物(株)で杉江社長から魚の種類特徴や流通など多岐にわたって説明を受けた。

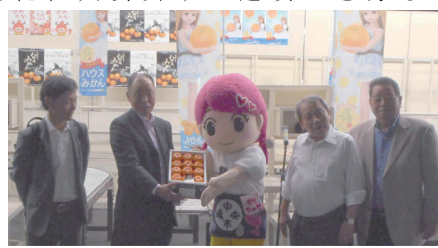


次に、青果卸の果実のせり場で、せりを見学して市場内のモノの流れの説明を受けたのち、大阪北部中央青果(株)提供の熊本の甘いスイカを試食して、皆さんその甘さとおいしさに大満足しておられた。



J A さがからハウスみかんのトップセールス

佐賀県鹿島市のJAさががみどり地区ハウスみかん部会の岡良二部会長ら5名の二行がハウスみかんのトップセールスに、5月13日府市場の果大阪青果(株)を訪れた。同社の果実せり場には8時30分から試食会が催された。場内放送で多くの関係者が集まり、糖度の高いおいしいみかんを試食した。8時50分には、



最後に、府市場管理センターが新たに作成した市場紹介DVDを見たのち、学生の皆さんから質問があった災害発生時の業務継続計画(BCP)の概要などを、府の職員が説明し、質問に答えていた。学生さんからは、今年度の食育活動に関する計画や市場を紹介するポスター案などを市場側にプレゼンしていた。学生さんからは、リアルな市場をつぶさに見て、聞いて、味わうことができ、これからの活動のイメージができたと非常に喜んでおられた。

最後に、府市場管理センターが新たに作成した市場紹介DVDを見たのち、学生の皆さんから質問があった災害発生時の業務継続計画(BCP)の概要などを、府の職員が説明し、質問に答えていた。学生さんからは、今年度の食育活動に関する計画や市場を紹介するポスター案などを市場側にプレゼンしていた。学生さんからは、リアルな市場をつぶさに見て、聞いて、味わうことができ、これからの活動のイメージができたと非常に喜んでおられた。



最後に、府市場管理センターが新たに作成した市場紹介DVDを見たのち、学生の皆さんから質問があった災害発生時の業務継続計画(BCP)の概要などを、府の職員が説明し、質問に答えていた。学生さんからは、今年度の食育活動に関する計画や市場を紹介するポスター案などを市場側にプレゼンしていた。学生さんからは、リアルな市場をつぶさに見て、聞いて、味わうことができ、これからの活動のイメージができたと非常に喜んでおられた。



管理センターからの報告(要旨)

宮前統括から次の項目について報告があった。

- 活性化事業 □ ハード事業 ● 水産物仲卸棟2階休憩場整備 ○ 天井塗装、分煙室設置換気扇 ※ 分煙室以外は禁煙にした ↓ 5/21完成予定 ○ 自販機(カップ機、缶ペット機、カップヌードル機の3種類)設置済み ○ パン屋の誘致・プレオープン 5/23(1週間程度)一人2個まで無料試食予定 ○ パンの製造販売 ↓ 6/2(オーブン予定) ○ 開閉時間 ↓ 午前2時、午後2時 ○ 利用状況に応じて弾力的に対応していきたい。新たにカップヌードル用のごみ容器も設置、清掃もぬかりなくやりたい。
- 仲卸店舗屋号看板改修(検討中)
- 管理棟トイレ改修(2期)(H28)
- 29年度に分けて実施(1期 ↓ 1、4)

階段、2期 ↓ 5、7階)設計終了。工事費/行程検討中

- ソフト事業 ● イオン市場直送サービス ● 水産物・茨木店5/21せりちゃんも活動。イオンからも好評で評価いただいている。● 市場まつり(水産物・梅花女子大学学生考案サーモンを使用したレシビを店頭試食) ↓ 近鉄百貨店奈良店5/14、松坂屋高槻店5/28
- 修繕事業 ● 執行済み33件、467万円 ● 検討中 ○ 青果・水産物仲卸棟2階廊下壁塗装修繕工事 ○ 床と手摺りは昨年度終えている。○ 青果軒下通り1、11番柱間舗装修繕工事 ※ 青仲組合と十分協議しながらやっていた。一定迂回をしていただかねばならない場合も出てくる。特段のご協力をお願いしたい。



「次いで同部会の岡良二部会長が「こんなに大勢の皆様に出席いただきお礼申し上げます。いよいよ昨日12日からハウスみかんの出荷が始まりました。先ほどご試食いただき、お分りのように、平均糖度が13度以上というところで、どれもおいしく仕上がった。どうか今年もみどり地区ハウスみかんをよろしく願います。」と挨拶され終了した。

市場協会専門部会を開催

市場協会の専門部会が年度当初の会議を開催し、平成27年度事業報告、平成28年度事業計画案、その他を審議し、承認したが、その主な内容は次のとおり。

食品衛生部会

5月13日に開催。前田進部会長（大果大阪青果(株)北支社長）の挨拶の後、議事がすすめられた。冒頭、食品衛生検査所の河井所長から、「日頃のご協力にお礼申し上げます。今まで情報発信できていなかったため、食品衛生のトピックスを作成し、皆さんと知識を共有するとか、警鐘を鳴らさせていただこうと思っっているのでよろしくお願ひしたい」と挨拶された。

例年通り、ゴキブリ、ねずみの齧駆除、齧便の実施や、食中毒防止の効果的な夏場の時期に、食品衛生指導員研修会講習会の開催を決めた。また、衛検の浅井技師から、食中毒関連トピックスとして、府内の食中毒発生状況や「トリカブトの誤食で死亡」などの食中毒の事例が説明された。部会として、食中毒が発生した場合は、取り返しのできないこと

になるので、改めて食中毒にならないよう、場内に注意を呼び掛けていくことを再確認した。



安全部会

5月16日に開催。東野達雄部会長（大阪府青果卸売協同組合理事長）の挨拶の後、議事が進められた。年4回の場内大掃除の第1回目を6月29日に実施することや、フオークリフト講習会、安全運転講習会の開催を決定した。

管理センターから、場内交通事故発生件数等の説明があったが、東野部会長から「26年度の人身事故が9件、27年度が12件で3件の増加、物損でも26年度が74件に対して27年度は79件で5件の増加、交通事故総数では、26年度83件、27年度91件と10%増加しているが、わずか20haの地域内で、事故件数が10%も増加しているのは非常に困ると思っっている。ただ、2月28日のスプリンクラー事故後、天井の防護施設をつけていたことや、卸さんがドライバーへの指示や場所の誘導などで事故が生じた



計量部会

5月17日に開催。板東啓三部会長（株大水北支社長）の挨拶の後、議事が進められた。27年度の計量検査は、151事業所の618台を検査し、20台が不合格となっている。（不合格になっているのはほとんどが使用実態のないもの）今年度も、各社団別別に、例年とほぼ同じ時期に、10月の水産物卸協同組合を皮切りに実施する事業計画が決まった。計量検査を担当している信岡計量士から「自主管理団体として活動することによって、個々の事業者さんには、コスト面で、検査を受ける手数料がいらない、そして検査を受ける場所に計量器を運ぶ必要がないなどの利点があり、団体として計量士を置いてい

るので何かあればご相談ください」との話があった。



場内事故等発生状況

区分		26年度	27年度
交通事故	人身	9	12
	施設	21	21
	その他	53	58
	小計	74	79
その他		0	0
小計		83	91
事件	火災	3	1
	暴力	0	0
	その他	6	10
小計		9	11
窃盗	商品	4	3
	金銭	0	0
	車輛	1	3
	その他	0	2
小計		5	8
救護者	病傷	8	9
	負傷	7	2
	その他	1	4
小計		16	15
合計		113	125

大阪府依頼事業 ●3件、約1億4千万円 ○青果棟低圧幹線設備改修工事(86百万円) ○水産立体駐車場の塗膜防水改修工事(約45百万円) ○高架下冷蔵庫棟デフロスタタンク更新事業(約1千万円)

施設の適正利用 できるだけ適正に利用されるよう、評価委員会でもご指摘、ご意見をいただいている。平等性を確保する必要があるため、力を入れてやらせていただいている。

不法占有の是正 ●買荷保管積込所(3か所、60㎡) ↓歴史的な経緯もあつたが粘り強く説得して決着し、施設使用料を徴収することになった。

2階プラットホームにおける不法駐車(4台) ↓有料駐車場へ誘導

工作物の無許可設置 ●水産仲卸店舗において工作物が無許可で設置されていた ↓庇をアングルで40cmほど伸ばし、網をかけてその上に発泡スチロールや材料等を載せていた ↓開設者と連名で除却指示し、除却する

福利厚生部会 5月18日に開催。三木博司部会長（大阪北部中央青果(株)社長）は「部会活動についてアイデアを出していただき、できるだけ多くの皆さんに参加していただける活動をしていきたい。」と挨拶された。

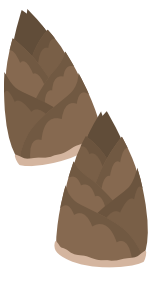
との理解をいただいている。 ※業務規程上、工作物の設置には事前に承認の申請をしていただくのが大前提なので、相談の徹底をお願いしたい。

不法投棄の防止徹底 ●防犯カメラ設置により効果発揮(4月22件、対前年度1/3) ●水産買出人駐車場への不法投棄が多発しているため防犯カメラを新たに26台設置する。

投資者の特定 ↓即警察へ通報、告発 ●カラス対策 ●捕獲数3回125羽、次回5/25予定

その他 ●「長崎魚市場」で長年放置していた酸素ボンベ爆発事故の報道あり。 ↓注意喚起 ●診療所利用促進の依頼(Drが交代し法人理事長が診察している。)

また、昨年文化祭は会場の管理棟1階が耐震工事のため11月であったが、例年通り10月で開催することになった。ソフトボールとボウリング大会、文化祭には、実行委員を選出し具体的な実施内容を決めることとなっているので、実行委員の選出依頼があつた。昨年初めてDVDを購入し、図書も毎年40~50冊購入して充実しているため、ご活用いただくよう要請があつた。



人事異動

(府市場関係)

〈敬称略〉5月1日付、(内は前職)〇(株)うおいち

〈異動〉▽事務管理本部大阪総務部総務部長(北部管理グループ)リーダール部長待遇)山本一秀▽事務管理本部北部管理グループリーダール(同グループ副参事)亀山真吾



いちば通信

を発売

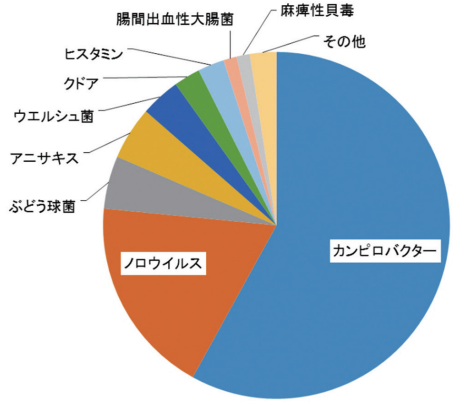
食品衛生検査所では、このほど食品衛生のトピックスを毎月瓦版にして発行し、組合の掲示板などに貼っていただき、市場の皆さんと食品衛生の知識を共有するとともに、警鐘を鳴らしたいとしている。この瓦版には、青果用、水産用、加工用の3つがあり、その時々話題を適時に提供されるという事で、ここに、青果版と水産版の第1号を紹介したい。

衛検だより

カンピロバクター食中毒発生！ 食品衛生検査所

ゴールデンウィークに開催された「肉フェス」の2会場で、カンピロバクターの食中毒が発生しました。原因食品は産地直送の新鮮鶏が売りの「鶏ささみ寿司」のようですが、全国の有名店や世界の肉料理を集めた、いわば肉のプロが開催するイベントで、まだ生肉の料理を提供していたことに驚きました。

この春、有毒野草による死亡例や有毒魚の食中毒などが次々報道されましたが、



大阪府で食中毒の原因菌として上位を占めているのはやはりカンピロバクターです。平成27年度に大阪府では80件の食中毒が報告されましたが、そのうちの47件がカンピロバクターによるものでした。今年に入って4月までに9件報告されている食中毒の病因別発生状況を見ても、発生原因の約半数がカンピロバクターです。

カンピロバクターは鶏や牛、ペットや野鳥、ネズミなどの腸管内に常在する細菌です。厚生労働省による調査の結果、6割以上が汚染されていたことがわかりました。1000個程度の少ない菌量で発症し、まれに数週間後、「ギランバレー症候群」と呼ばれる神経の炎症を起こすことがあります。



カンピロバクターの電子顕微鏡写真↑ 提供：府立公衆衛生研究所

菌を食べない菌を付けない！ (ご注意ください！) 調理に使用した器具は洗剤ですっきり洗い、熱湯などで殺菌しましょう。もちろん肉をさわった手もせっけんで洗ってください。

- ①しっかりと加熱 食肉の生食は危険です。肉が新鮮であるほど菌も元気が焼き鳥、親子丼、バーベキューなど加熱不足に注意が必要です。中心部まで75℃で1分以上加熱しましょう。
②二次汚染を防ぐ 肉を切った包丁、まな板や肉のトレイに残ったドリップには菌が付いています。調理に使用した器具は洗剤ですっきり洗い、熱湯などで殺菌しましょう。

WANTED! この春全国で毒物事件続発中! 「毒素を作る細菌」ウエルシュ菌 4月1日岡崎市で、仕出し弁当を食べた70名が下痢、腹痛など食中毒症状を示し、調査の結果ウエルシュ菌の食中毒と断定されました。イヌサフランを食べた1名死亡 4月21日、旭川市内で知人にもらったギョウジャニンニクの葉を食べた2名が嘔吐下痢などの食中毒症状を示し、内1人が死亡。イヌサフランの誤食による食中毒事例として報道発表し、注意喚起を行いました。また、連休中にも岐阜県で誤ってイヌサフランが販売され食中毒が発生しました。アルカロイドと咲くはれる有毒成分コルヒチンが含まれ、食べると嘔吐下痢、呼吸困難を示すことがあります。

WANTED! この春全国で毒物事件続発中! 「毒素を作る細菌」ウエルシュ菌食中毒! 4月1日岡崎市で、仕出し弁当を食べた70名が下痢、腹痛など食中毒症状を示し、調査の結果ウエルシュ菌の食中毒と断定されました。麻痺性貝毒の食中毒発生! 阪南市男里川河口でアサリを採取して食べた2名が手や口の麻痺、ふらつきなどの症状を示し麻痺性貝毒の食中毒と断定されました。イシナギの肝臓を調理して食べた2名が、発熱、嘔吐、皮膚の剥離など、ビタミンAの過剰摂取の症状を示しました。イシナギの肝臓には、多量のビタミンAが含まれ5~10?でも中毒する可能性があるため販売できません。

卸売業者取扱高 (平成28年4月) 大阪府中央卸売市場
Table with columns: 卸売業種名, 種類, 数量(トン), 前年比%, 金額(千円), 前年比%. Rows include 青果, 水産物, and 卸売業者計.

新着図書案内 ※寄贈本
世界的果てのこともたち 中脇初枝著 講談社
美味しんぼ 第94巻〜第100巻 第101巻〜第111巻 雁屋哲著 小学館
天才 ※ 石原慎太郎著 幻冬舎
※カエルノ楽園 百田尚樹著 新潮社
場内斉大掃除 6月29日(水)実施
府市場協会安全部会では、今年度1回目の場内斉大掃除日程を決定した。大掃除で、安全安心な明るい市場づくりに取り組むと呼びかけている。